

「BRAIN and NERVE」第 67 巻 総目次

2015 年 (第 1～12 号)

頁数は通巻数, ()内は号数

(特 集)

〈ニューロトキシコロジー〉

有機ヒ素中毒の 10 年 — ジフェニルアルシン酸中毒の疫学・臨床・代謝……………石井 一弘・玉岡 晃・ 5(1)

一酸化炭素中毒 — 三井三池三川坑炭塵爆発事故から 50 年……………加藤 元博・ 19(1)

新潟水俣病の臨床神経学……………下畑 享良

廣田 紘一・高橋 均・西澤 正豊・ 31(1)

農薬の神経毒性学……………市川 博雄・ 39(1)

スモン — キノホルム薬害と現状……………小長谷正明・ 49(1)

放射線による神経障害……………鈴木 啓司・ 63(1)

〈「食べる」を考える〉

摂食行動および食欲の神経基盤……………桜井 武・ 131(2)

咀嚼の神経機構……………井上 富雄・ 141(2)

嚥下の神経機構……………井上 誠・ 157(2)

嚥下障害のリハビリテーション

……………重松 孝・藤島 一郎・ 169(2)

摂食障害……………三宅 典恵・岡本 百合

神人 蘭・志々田一宏・岡本 泰昌・ 183(2)

〈中枢神経の血管炎〉

血管炎の新しい分類と基本的な考え方 — 中枢神経血管炎の位置づけ……………小池 春樹・祖父江 元・ 243(3)

中枢神経血管炎の画像診断

……………横田 元・山田 恵・ 249(3)

自己免疫による中枢神経血管炎……………越智 一秀・ 261(3)

感染症による中枢神経血管炎

……………大石 実・亀井 聡・ 267(3)

炎症性脳アミロイド血管症

……………伊井裕一郎・富本 秀和・ 275(3)

中枢神経血管炎の治療戦略

……………本田 真也・古賀 道明・神田 隆・ 287(3)

〈大脳皮質 vs. 大脳白質〉

大脳皮質概論……………吉田 真理・ 355(4)

ヒト大脳白質の成り立ちと病態

……………内原 俊記・宍戸-原由紀子・ 371(4)

皮質性認知症の現代的捉え方……………下濱 俊・ 389(4)

皮質下性認知症の現代的捉え方 — 遺伝性脳小血管病からの

解析……………水野 敏樹・ 403(4)

レヴィ小体型認知症 — 鑑別診断を中心に

……………織茂 智之・ 413(4)

びまん性白質病変の精神症状 — アルツハイマー病と皮質下虚血性病変との関連を中心に

……………橋本 衛・池田 学・ 427(4)

大脳皮質連合野病変の症候学……………鈴木 匡子・ 433(4)

大脳白質病変の症候学……………河村 満・ 445(4)

大脳皮質を見る：脳磁図 (MEG) ……柿木 隆介・ 451(4)

大脳白質を見る：MRI ……中田 安浩・ 467(4)

脳白質線維トラクトグラフィーと定量解析

……………下地 啓五・徳丸 阿耶・ 475(4)

VS RAD[®] による大脳皮質および白質体積測定

……………松田 博史・ 487(4)

多発性硬化症の皮質病変

……………河内 泉・西澤 正豊・ 497(4)

白質と脳機能……………和氣 弘明・加藤 大輔・ 505(4)

〈NCSE (非痙攣性てんかん重積状態)〉

【鼎談】 NCSE

……………井上 有史・永山 正雄・河村 満・ 545(5)

非痙攣性てんかん重積状態に関する諸問題 — 臨床と研究の進歩……………永山 正雄・梁 成勲・ 553(5)

高齢者てんかんと認知症の関連……………石垣征一郎

四郎丸-杉本あずさ・河村 満・ 563(5)

神経救急における NCSE

……………高橋 恵・奥寺 敬・ 569(5)

非痙攣性てんかん重積状態の脳波所見

……………久保田有一・中本 英俊・川俣 貴一・ 575(5)

環状 20 番染色体てんかん症候群と NCSE

……………廣瀬源二郎・ 585(5)

〈脳と「質感」〉

質感がなぜ重要か — 質感認知研究の発展

……………小松 英彦・ 663(6)

視覚 — 物体の質感認知

……………山根ゆか子・田村 弘・ 669(6)

聴覚 — 音の質感認知

……………白松-磯口知世・高橋 宏知・ 679(6)

- 手触りと“眼触り”の脳を探る……山本 洋紀・691(6)
- ヒトの質感認知——損傷脳における質感認知障害
……鈴木 匡子・701(6)
- 視覚刺激に対する嗜好性と前頭葉眼窩部の関与
……船橋新太郎・711(6)
- 〈神経疾患と感染症 update〉
- 中枢神経感染症の診断——臨床における問題点と今後の課題
……森田 昭彦・777(7)
- 細菌性髄膜炎の現状……亀井 聡・787(7)
- 中枢神経系感染症の遺伝子診断……大楠 清文・799(7)
- 中枢神経系感染症における画像診断の役割
……横田 元・田添 潤・山田 恵・813(7)
- 子宮頸がんワクチンの副反応と神経障害
……池田 修一・835(7)
- HTLV-I 関連脊髄症 ……中村 龍文・松尾 朋博・845(7)
- インフルエンザ脳症……鳥巢 浩幸・原 寿郎・859(7)
- ギラン・バレー症候群と先行感染——日常診療のエッセンス
……古賀 道明・871(7)
- 感染症と免疫性神経疾患——多発性硬化症・視神経脊髄炎と
EB ウイルス ……森 雅裕・881(7)
- ナタリズマブ誘発性 PML の病理……神田 隆・891(7)
- 中枢神経系日和見感染症の病理……新宅 雅幸・903(7)
- 同種造血幹細胞移植における HHV-6 脳炎
……緒方 正男・919(7)
- 単純ヘルペス脳炎 update ……黒田 宙・931(7)
- プリオン病の治療動向……坪井 義夫・941(7)
- HIV 感染症治療の進歩
……松井 佑亮・高折 晃史・947(7)
- 〈神経難病の終末期医療〉
- 【鼎談】神経難病の終末期医療
……荻野美恵子・谷向 仁・森 啓・983(8)
- 米国における ALS 末期患者診療の現状——過去 10 年を省
みて……三本 博・993(8)
- ALS の在宅終末期ケアの現場より ……難波 玲子・1007(8)
- 神経難病終末期緩和ケアと在宅医療……横山 和正
荻野美恵子・石垣 泰則・服部 信孝・1015(8)
- 看護からみた神経難病の終末期——「心のバリアフリー化」
を進める ALS ケアの重要性 ……村岡 宏子・1025(8)
- 〈酵素補充療法〉
- 【鼎談】よくわかる酵素補充療法
……大橋 十也・埜中 征哉・神田 隆・1081(9)
- ポンベ病の酵素補充療法——長期的な治療効果と課題
……福田冬季子・杉江 秀夫・1091(9)
- ファブリ病——病態・臨床症状・酵素補充療法
……澤井 摂・1099(9)
- ゴーシェ病の酵素補充療法……奥山 虎之・1109(9)
- シアル酸補充療法——GNE ミオパチー(緑取り空胞を伴う遠
位型ミオパチー)治療への試み
……森 まどか・西野 一三・1115(9)
- 〈非・日常生活の脳科学〉
- 「逃げろ！」と指令を出す脳回路 ……小田 洋一・1173(10)
- 東日本大震災——心的外傷後ストレス症状の危険因子
……門間 陽樹・永富 良一・1185(10)
- 自尊心が守る脳と健康——東日本大震災における追跡調査か
ら……関口 敦・1193(10)
- 心理ストレスと体温上昇……中村 和弘・1205(10)
- 2 つのことを同時にうまくできないのはなぜか——二重課題
干渉を生じるメカニズム
……渡邊 慶・船橋新太郎・1215(10)
- 〈ギラン・バレー症候群のすべて——100 年の軌跡〉
- 【鼎談】GBS——病態解明の歴史を振り返る
……楠 進・神田 隆・桑原 聡・1285(11)
- ギラン・バレー症候群の歴史……楠 進・1295(11)
- ギラン・バレー症候群の疫学……芳川 浩男・1305(11)
- ギラン・バレー症候群の臨床病型……古賀 道明・1313(11)
- ギラン・バレー症候群の神経生理……国分 則人・1321(11)
- ギラン・バレー症候群の末梢神経病理
……中野 雄太・神田 隆・1329(11)
- 分子相同性によるギラン・バレー症候群の発症機序——病態
解明の道程……結城 伸泰・1341(11)
- ギラン・バレー症候群の自己抗体
……内堀 歩・千葉 厚郎・1347(11)
- 脱髄型ギラン・バレー症候群の標的分子
……森 雅裕・1359(11)
- フィッシャー症候群とビッカーstaff 脳幹脳炎
……桑原 聡・1371(11)
- 急性感覚性ニューロパチーと急性自律神経ニューロパチー
……小池 春樹・1377(11)
- 急性発症 CIDP ……神林 隆道・園生 雅弘・1388(11)
- ギラン・バレー症候群の治療……野村 恭一・1397(11)
- ギラン・バレー症候群の予後、予後関連因子
……海田 賢一・1411(11)
- ギラン・バレー症候群の新規治療の現状と展望
……三澤 園子・1421(11)
- 〈視床と高次脳機能〉
- 視床の構造
……井手 智・掛田 伸吾・興梠 征典・1459(12)
- 視床と注意……所 和彦
佐藤 博信・山本真裕美・永井 喜子・1471(12)
- 記憶の神経解剖学的ネットワークと健忘——視床からの視点

……………西尾 慶之・森 悦朗・1481(12)
 左視床と失語……………中野 明子・下村 辰雄・1495(12)
 視床と情動……………平山 和美・1499(12)

(総 説)

血液学からみた抗凝固・血栓療法……………朝倉 英策・ 83(1)
 幹細胞移植による認知機能向上の可能性
 ………………本望 修・ 93(1)
 新世界ザル(マーモセット)網膜における網膜神経節細胞の
 形態的・機能的多様性……………小泉 周・193(2)
 神経核内封入体病/エオジン好性核内封入体病
 ………………藤ヶ崎純子・199(2)
 パーキンソン病患者における外科手術への対応
 ………………下畑 享良・下畑 敬子・西澤 正豊・205(2)
 パーキンソン病・アルツハイマー病における時間認知障害
 ………………本間 元康・黒田 岳志
 二村 明德・杉本あずさ・河村 満・297(3)
 言語の統辞処理を支える3つの神経回路
 ………………金野 竜太・酒井 邦嘉・303(3)
 大脳皮質基底核変性症の臨床診断基準と治療
 ………………下畑 享良・饗場 郁子・西澤 正豊・513(4)
 記憶の脳回路痕跡
 ………………小島 寛人・坂口 哲也・池谷 裕二・599(5)
 発汗の神経学……………朝比奈正人・605(5)
 髄液の産生・吸収に関する最新の知見——100年にわたる教
 義的学説の再考と改訂
 ………………徳田 隆彦・木多 真也・617(5)
 糖尿病と認知症
 ………………二村 明德・森 友紀子・河村 満・725(6)
 アクアポリンと神経疾患……………安井 正人・733(6)
 シトリン欠損症の治療および病態の考察
 ………………早坂 清・沼倉 周彦・渡邊 久剛・739(6)
 紀伊半島の筋萎縮性側索硬化症/パーキンソン認知症複合
 ——疾患概念の変遷と診断基準の位置づけ
 ………………小久保康昌・961(7)
 血液脳関門の体外循環モデル
 ………………竹下 幸男・神田 隆・1035(8)
 成人てんかんの最新治療戦略……………神 一敬・1043(8)
 発達障害と認知症……………緑川 晶・1125(9)
 逆さま顔の認知からみた脳の働き
 ………………菅生(宮本)康子・松本 有央・河野 憲二・1231(10)
 SLONM-MGUS——M蛋白血症を伴う孤発性成人発症型ネ
 マリンミオパチー……………永井 太士・砂田 芳秀・1515(12)
 網膜色素変性症における熱ショック蛋白質70の役割と新た
 な治療戦略……………郡山 恵樹・古川 絢子・1523(12)

〈シリーズ・ビタミンと神経疾患〉

ビタミンB₁₂とALS・ニューロパチー
 ………………野寺 裕之・和泉 唯信・梶 龍児・1133(9)
 アスコルビン酸(ビタミンC)とシャルコー・マリー・
 トゥース病……………能登 祐一・1241(10)
 ビタミンDと多発性硬化症
 ………………新野 正明・宮崎 雄生・1429(11)
 ビタミンEとアルツハイマー病
 ………………篠原もえ子・山田 正仁・1509(12)

(原 著)

パーキンソン病における認知機能障害と姿勢保持障害との関
 連……………大湾 喜行・村上 秀友
 森 友紀子・山岸 慶子・渡辺 大士
 加藤 大貴・毛束真知子・河村 満・99(1)
 胚芽異形成性上皮腫瘍に伴う難治性てんかん症例における発
 作起始域の臨床的・病理学的検討……………村上 信哉
 森岡 隆人・橋口 公章・鈴木 諭
 重藤 寛史・酒田あゆみ・佐々木富男・525(4)
 めまいを主訴とした交通外傷性脳脊髄液減少症の神経耳科学
 的検討……………横田 淳一・霜田 里絵・627(5)
 実臨床下での日本人高齢発症部分てんかん患者に対するレベ
 チラセタムの併用療法
 ………………山内 俊雄・兼本 浩祐
 川合 謙介・石田 重信・山田真由美
 徳増 孝樹・白井 大和・山村 佳代・749(6)
 日本版 WISC-IV を用いた脳外傷児22例の高次脳機能障害の
 検討……………上久保 毅・橋本 圭司
 上出 杏里・竹厚 誠・池田 夏葉・1051(8)
 認知症疾患医療センターにおける特発性正常圧水頭症診療の
 現状……………吉山 顕次・数井 裕光・武田 雅俊・1139(9)
 相対音感に関わる灰白質の髄鞘と神経線維束の可視化——左
 島皮質後部の役割……………清水祐一郎・酒井 邦嘉・1147(9)
 小児部分てんかんにおけるレベチラセタム併用療法の効果と
 安全性……………榎 日出夫・横田 卓也・岡西 徹・1247(10)
 成人発症の結節性硬化症の臨床と脳画像の特徴——幼少時発
 症例との比較……………竹島 慎一・原 直之
 姫野 隆洋・久保 智司・高松 和弘
 小林 宏光・田中 朗雄・栗山 勝・1255(10)
 日本人小児部分てんかんに対するレベチラセタム長期継続併
 用療法——多施設共同非盲検試験
 ………………中村 秀文・大澤真木子
 横山 輝路・吉田 克己・鈴木 淳・1435(11)

(症例報告)

複数の発作周辺期精神症状を含む多彩な発作症状を呈した部
 分てんかんの1例……………江面 道典・柿坂 庸介

神 一敬・加藤 量広・岩崎 真樹 藤川 真由・青木 正志・中里 信和・ 105(1)	
乳癌に対する化学療法中に生じたフェニトイン中毒の1例 ……………田口 芳治・高嶋修太郎・田中耕太郎・ 213(2)	
びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫経過中に末梢神経障害を きたし初期のPET-CTで集積なく診断に苦慮した neuro- lymphomatosis の1例 ……………海老原由佳・石井 信之・秋月 溪一 谷口 晶俊・望月 仁志・稲津 明美 塩見 一剛・長町 茂樹・中里 雅光・ 219(2)	
道具把握のみに障害を呈した道具使用失行の1例 ……………早川 裕子・藤井 俊勝 山鳥 重・目黒 謙一・鈴木 匡子・ 311(3)	
排尿筋外括約筋協調不全を呈したウェルニッケ脳症の1例 ……………谷口 昌光・谷口 央・長浦 主税・ 317(3)	
表象障害による左半側空間無視を呈した脳梗塞の1例 ……………高岩亜輝子・恒藤 澄子 安部 博史・寺井 敏・田川 皓一・ 323(3)	
塩酸トリエンチンと酢酸亜鉛内服治療によるウィルソン病の 頭部MRI所見の推移 ……………金 蓮姫・小出 玲爾・川田 明広・ 635(5)	
下垂体前葉機能低下症および橋本病の合併により初発症状が 修飾された大脳皮質基底核症候群の1例 ……………森本 悟・金原 嘉之 寺田 真・小宮 正・石井 賢二 高尾 昌樹・金丸 和富・村山 繁雄・ 759(6)	
抗 α エノラーゼN末端抗体陽性のレヴィ小体型認知症の1 例——橋本脳症との鑑別診断 ……………伊倉 崇浩・藤城 弘樹・高橋 幸利 米田 誠・斎藤 知之・千葉 悠平 鎌田 鮎子・勝瀬 大海・平安 良雄・ 967(7)	
掻痒感から発症した視神経脊髄炎の再発 ……………松浦 潤・木村 彩香・笠井 高士 吉田 誠克・中川 正法・水野 敏樹・ 1057(8)	
不妊治療中・体外受精着床後2週間で発症した奇異性脳塞栓 に recombinant tissue plasminogen activator 静注療法を 施行した1例 ……………戸村 美紀・佐藤 浩一・花岡 真実 田村 哲也・木内 智也・新野 清人 三宅 一・仁木 均・障子 章大・ 1261(10)	
音楽嗜好症 (musicophilia) を呈した右側優位側頭葉萎縮の 1例……………品川俊一郎・中山 和彦・ 1443(11)	
皮膚生検が診断に有用であった非典型CADASILの1例 ……………玉木 慶子・深江 治郎 古賀 佳織・永利 聡仁・植田 明彦	

合馬 慎二・安東由喜雄・坪井 義夫・ 1533(12)	
(神経画像アトラス)	
WEBINO 症候群単独で発症した片側橋梗塞の1例 ……………竹内 誠 西田 翔・大谷 直樹・森 健太郎・ 765(6)	
(Neurological CPC)	
Flail arm syndrome を呈し、速やかに呼吸不全に至った ALS の48歳男性剖検例 ……………桑原 宏哉・内原 俊記 河村 満・井口 保之・織茂 智之 後藤 淳・鈴木 正彦・田久保秀樹 福田 隆浩・藤ヶ崎純子・星野 晴彦・ 639(5)	
(ポートレイト)	
勝木司馬之助——医の心人の心……………北園 孝成・ 111(1)	
デレク デニー—ブラウン——The last Victorian ……………柳澤 信夫・ 329(3)	
セルゲイ・コルサコフ——科学者、精神科医、思索家で ヒューマニスト……………池田 研二・ 651(5)	
(現代神経科学の源流)	
ノーマン・ゲシュヴィンド【前編】 ……………河内 十郎・酒井 邦嘉・ 1061(8)	
ノーマン・ゲシュヴィンド【中編】 ……………河内 十郎・酒井 邦嘉・ 1157(9)	
ノーマン・ゲシュヴィンド【後編】 ……………河内 十郎・酒井 邦嘉・ 1269(10)	
(学会印象記)	
XVIIIth International Congress of Neuropathology (2014 年9月14~18日, リオ・デ・ジャネイロ) ……………若林 孝一・ 116(1)	
Conscious Experience of Time: Its Significance and Inter- pretation in Neuroscience and Philosophy (2014年9月 30日~10月2日, ベルリン)……………四本 裕子・ 118(1)	
World Stroke Congress 2014 (2014年10月22~25日, イ スタンブル)……………平野 照之・ 225(2)	
Neuroscience 2014 (2014年11月15~19日, ワシントン DC)……………鴻池 菜保・ 228(2)	
7th Clinical Trials on Alzheimer's Disease (2014年11月 20~22日, フィラデルフィア)……………富山 貴美・ 230(2)	
American Association of Neuromuscular & Electrodiagno- stic Medicine 61st Annual Meeting (2014年10月29日 ~11月1日, サバンナ)……………東原 真奈・ 340(3)	
7th Pan-Asian Committee on Treatment and Research in Multiple Sclerosis (PACTRIMS) (2014年11月6~8 日, 台北)……………三須 建郎・ 342(3)	
12th International Conference on Alzheimer's and Parkin-	

son's Diseases (AD/PD 2015) (2015 年 3 月 18～22 日,
 ニース)梅田 知宙・1067(8)
 15th International Congress on Schizophrenia Research
 (ICOSR) (2015 年 3 月 28 日～4 月 1 日, コロラドスプリ
 ングス)長井 信弘・1070(8)
 American Academy of Neurology 2015 Annual Meeting
 (2015 年 4 月 18～25 日, ワシントン D.C.)
竹下 幸男・1162(9)
 Alzheimer's Association International Conference 2015
 (2015 年 7 月 18～23 日, ワシントン D.C.)
富田 泰輔・1538(12)

(連載 神経学を作った 100 冊)

(97)オッサーマン『重症筋無力症』(1958)

.....作田 学・122(1)
 (98)ラングレイ『自律神経系』(1921) ...作田 学・232(2)
 (99)プラム『意識混濁と昏睡の診断』(1966)
作田 学・344(3)
 (100)豊倉康夫『神経内科学書』(1987)
作田 学・534(4)

(特別鼎談)

たのしいエチカ ― 現代の科学倫理をめぐって

.....河村 満・佐倉 統・酒井 邦嘉・73(1)

(追 悼)

臺 弘先生を悼む丹羽 真一・120(1)

瀬川昌也先生が目指されたこと野村 芳子・973(7)